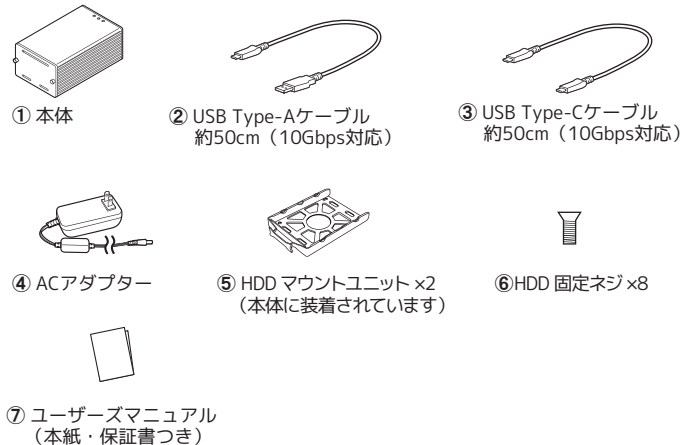


この度は弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本紙は、本製品を正しく安全にお使いいただくための取り扱い方法、使用上の注意等について説明するものです。ご使用前に必ず本紙をよくお読みください。また、お読みになった後も本紙は大切に保管してください。

※本文の記載内容(仕様、名称、画面など)はバージョンアップなどによって変更されている場合があります。

■ 内容物 (7点) をご確認ください



不足がある場合は、お手数ですが弊社サポートセンターまたは販売店までご連絡ください。



■ 動作環境

- 対応パソコン USB3.2 Gen1(5Gbps)/Gen2(10Gbps) 対応の USB Type-A もしくは Type-C ポートを装備した Windows PC または Mac
- 対応OS 32 ビット /64 ビット 両対応
各 OS の最新バージョンにアップデートしてご使用ください
・ Windows 10
・ macOS 10.12 (Sierra)以降
- 対応ディスク 2.5 インチ SATA HDD/SSD/SSHD
※7mm/9.5mm/12.5mm 厚に対応しています。

最新情報は弊社ホームページをご参照ください。 <https://www.ratocsystems.com/>

■ 使用できるRAIDモード

- RAID1 (ミラーリング)
2台のHDDへ同時に書き込みをおこない、保存と同時にバックアップを作成します。HDD故障時は、HDDを交換すると自動的にリビルドを開始します。
※リビルド中も、正常HDDにアクセスしてデータの読み書きをおこなうことができます。
- RAID0 (ストライピング)
2台の同容量HDDを、1台の高速・大容量HDDとして使用できます。
- JBOD (スパンニング)
2台のHDDをまとめて、1台の大容量HDDとして使用できます。
- SINGLE (HDD個別使用)
2台のHDDを個々のドライブとして使用できます。1台のみ装着することも可能です。

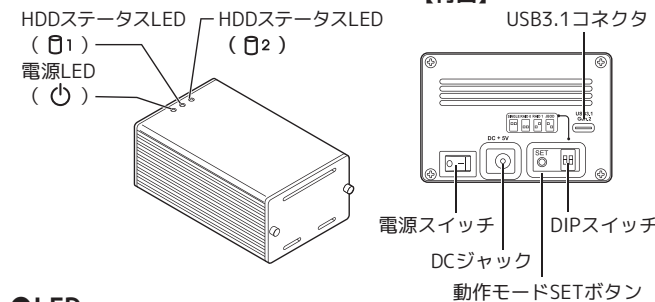
■ 使用上の注意

- ・ USB3.2 Gen2(10Gbps)のパフォーマンスを最大限に発揮するには、USB3.2 Gen2 対応のインターフェイスに接続する必要があります。
- ・ RAID0、RAID1モードで使用する場合、同一メーカー、同一型番のHDDを使用されることをお勧めします。
- ・ リビルド中は転送速度が低下します。
- ・ ホットスワップには対応していません。ディスク故障や交換時は、本製品の電源をOFFにしたあとディスクを交換してください。
- ・ SINGLEモードでの使用時、1台のみを装着することも可能ですが、装着していない側のステータスLEDが赤色点灯します。
- ・ RAID1からSINGLEモードへ動作モードを変更する場合は、一度、RAID0もしくはJBODへ変更する必要があります。
- ・ 接続したディスクからのOS起動はできません。
- ・ 弊社製RAID監視マネージャーは使用できません。

製品背面 名称訂正
誤) USB3.1 コネクタ
正) USB3.2 コネクタ

■ 各部名称・LED

●本体

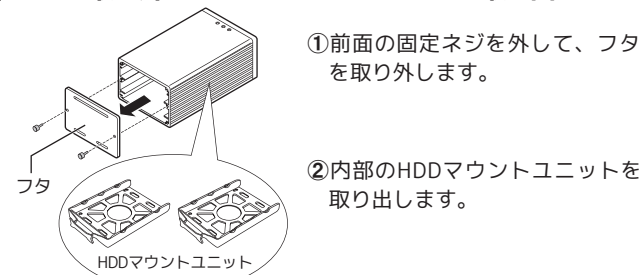


●LED

電源LED (青)	状態	HDDステータスLED	状態
● 点灯	電源ON	● 青点滅	アクセス中
○ 消灯	電源OFF	● ゆっくり青点滅	リビルド中
○ 消灯	未接続(デバイスの取り出し済み、もしくはケーブル未接続)	● 赤点灯	HDD異常/未装着
● 青点灯	正常動作		

1 HDD の取り付け

1 フタを取り外し、HDDマウントユニットを取り出す

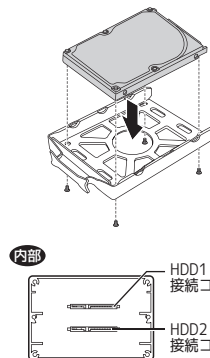


- ①前面の固定ネジを外して、フタを取り外します。
- ②内部のHDDマウントユニットを取り出します。

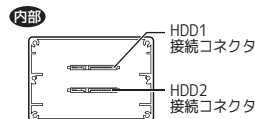
2 HDDを取り付ける

⚠ 注意：接続コネクタの向き

接続コネクタの向きを確認の上、HDDを装着してください。

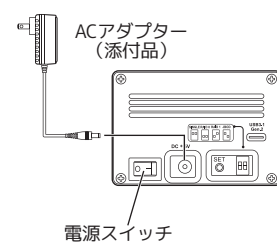


- ①HDDマウントユニットにHDDを添付のネジで固定します。



- ②HDDマウントユニットを本体に挿し込みます。
- ③手順①と逆の手順で、フタを取り付けます。

3 電源を入れる



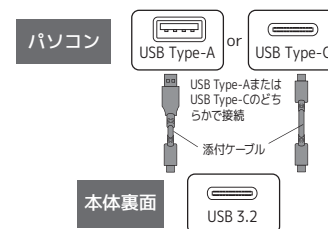
- ①ACアダプターを接続します。
- ②電源スイッチをONにします。

電源スイッチをONにすると、天面の電源LED (青) が点灯します。

2 RAID の作成

1 パソコンに接続する

- ①パソコンの電源をONにします。
- ②本体を USB ケーブル(添付品)で接続します。



接続すると自動的にドライバーがインストールされ、パソコンに認識されます。

2 DIPスイッチで動作モードを選択する

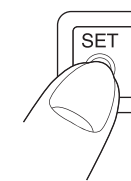
DIPスイッチ 本体背面にあるDIPスイッチで設定します。

	RAID1 2台のHDDへ同時に書き込みをおこない、保存と同時にバックアップを作成します		JBOD 2台のHDDをまとめて、1台の大容量HDDとして使用できます。
	RAID0 2台の同容量HDDを、1台の高速・大容量HDDとして使用できます。		SINGLE 2台のHDDを個々のドライブとして使用できます。

※DIPスイッチの操作は、先の硬くて細いものを使用してください。

3 RAIDを作成する

⚠ 注意 RAID 作成時、HDD に保存されているデータは削除されます。



- ①本体背面にある動作モードSETボタンを長押し(5秒以上)します。
- ②各HDDステータスLED (青) が早く点滅します。このとき、パソコンとの接続が一旦解除されますが、その後、自動的に設定したモードで再認識されます。

「3. デバイスの確認とフォーマット」に進んでください。

⚠ 注意：電源オフUSB充電機能対応のUSBポートには接続しない

電源プラグや稲妻 () などのマークが表示されていないUSBポートに接続してください。

「電源オフUSB充電機能」は、パソコンの電源がオフ、もしくはスリープや休止状態のときでも、USB充電に対応した周辺機器を充電できる機能です。ご使用のパソコンの本機への対応や、対応USBポートの位置については、パソコンの説明書等をご確認ください。パソコンメーカーによっては、「パワーオフUSB充電機能」「電源オフUSBチャージ機能」「Powershare 対応」「USBスリープアンドチャージ」などの名称で記載されています。

【制限事項】
「電源オフUSB充電機能」に対応したUSBポートに本製品を接続した状態でスリープから復帰すると、USBデバイスの取り外しと再認識がおこなわれるために、次の現象が発生することがあります。
● 通知領域に、周辺機器を認識したことを知らせるメッセージが表示される
● 「自動再生」が表示される
● 本製品に割り当てられたドライブ名が変わる
● 連携しているアプリまたはソフトウェアが起動する
なお、現象が発生しても本製品やデータが破損することはありません。スリープからの復帰時、必ず、本製品が再認識したことを[コンピュータ]や[マイコンピュータ]に表示されていることを確認のうえ、コピーや移動の再開操作をおこなってください。

3 デバイスの確認とフォーマット

⚠ 注意

- フォーマットをおこなうとHDD上のデータはすべて消去されます。

Windowsの場合

- 1 コンピューターの管理画面を開きます。
① デスクトップ画面で、Windowsキーを押しながらXキーを押します。
② 表示された一覧から【コンピューターの管理】をクリックします。
- 2 デバイスマネージャーでドライブが認識されているか確認します。
① 【デバイスマネージャー】を選択します。
② 【ディスクドライブ】をダブルクリックします。
接続しているHDDが表示されている場合、接続機器は正しく認識されています。

裏面につづく

